

【事業に対するKPI】

具体的施策	I-(1)	観光の振興
KPI		実績値
①観光入込客数	540,000 人(H31)	480,000 人(H25)
②外国人旅行者訪問数	1,000 人(H31)	234 人(H26)
③観光消費額	380,000 千円(H31)	339,000 千円(H26)

※外国人旅行者訪問数平成26年度実績値：石炭・歴史博物館入館者のうち外国人数

KPI①

基本的な考え方	田川市への観光入込客数を、平成31年度(4年後)まで年間3%ずつ増加させる。 ※3%は仮設定値。今後の見直しが必要。
数値計算	実績値 × 年間の増加率 ⁴ = 480,000人 × 1.03 ⁴ = 540,244人

KPI②

基本的な考え方	田川市への外国人旅行者訪問数を、平成31年度(4年後)に現在の4倍にする。 ※4倍は仮設定値。今後の見直しが必要。
数値計算	実績値 × 増加率 = 234人 × 4 = 936人 ≒ 1,000人

KPI③

基本的な考え方	田川市の観光消費額を、平成31年度(4年後)まで年間3%ずつ増加させる。 ※3%は仮設定値。今後の見直しが必要。
数値計算	実績値 × 年間の増加率 ⁴ = 339,000千円 × 1.03 ⁴ = 381,547千円

具体的施策	I - (2)	スポーツ合宿の誘致
-------	---------	-----------

KPI	実績値
①キャンプ誘致の決定(H31)	
②合宿所の着工(H31)	
(参考1)合宿所延べ利用者数	2,700人(H33)
(参考2)新規雇用者数	2人(H33)

KPI(参考1)

基本的な考え方	合宿所利用者を、25人ずつ2泊3日で1ヶ月に3組受け入れる。(年間稼働率30%)
数値計算	$1組あたり人数 \times 滞在日数 \times 年間受入組数$ $= 25人 \times 3日 \times 36組$ $= 2,700人$

※南さつま市合宿施設実績(H23)

団体別	団体数	人数	延べ人数	平均滞在日数	1団体あたりの人数
プロ	1	3	63	21	3
社会人	1	7	56	8	7
大学	20	470	3,358	7.1	23.5
高校	128	3,007	8,290	2.8	23.5
その他(中学・少年等)	169	4,718	10,976	2.3	27.9
合計	319	8,205	22,743	2.8	25.7

※1団体あたりの人数 = 人数/団体数 = 25.7人 \approx 25人

※平均滞在日数 = 延べ人数/人数 = 2.8日 \approx 3日

KPI(参考2)

基本的な考え方	スポーツ合宿受入による収入の3割を雇用者の給与に当て、雇用者の給与を150万として雇用者を確保する。
数値計算	$1組あたり人数 \times 宿泊数 \times 年間受入組数 \times 利用単価 \times 給与率 \div 雇用単価$ $= 25人 \times 2泊 \times 36組 \times 6,500円 \times 0.3 \div 1,500,000円$ $= 2.34人$

※八幡平スポーツ誘致委員会、宿泊施設料金設定値

	小・中・高校生	先生・大学生・一般
ホテル以外の宿泊施設	6,000	6,600
ホテル	6,500	7,100

具体的施策	I-(3)	県立大学と企業との連携
-------	-------	-------------

KPI		実績値
①連携による開発・製造で出荷に至った企業数	2社(H31)	-
②連携による開発・製造で出荷に至った製品数	6品(H31)	-

KPI①

基本的な考え方	平成31年度(4年後)まで2年に1社の頻度で、新たな出荷を開始する。
数値計算	1年あたりの新規出荷企業数×年数 =1/2社×4年 =2社

KPI②

基本的な考え方	平成31年度(4年後)までに出荷に至った企業が、3品ずつ製造する。
数値計算	出荷に至った企業数×1社あたりの出荷製品数 =2社×3品 =6品

具体的施策	I - (4)	6次産業化等の推進
-------	---------	-----------

KPI		実績値
①商品の開発数	4 件 (H31)	1 件 (これまでの成功件数)
②開発商品の販売額	1,160,000 円 (H31)	290,000 円 (H26)
③新規就農者数	4 人 (H31までの累計)	-

KPI①

基本的な考え方	民間企業等と連携して、平成31年度(4年後)まで年間1件ずつ、新たな商品開発を行う。
数値計算	年間開発件数 × 年数 = 1件 × 4年 = 4件

KPI②

基本的な考え方	過去の販売実績額に平成31年度時点の開発数を乗じる。
数値計算	販売実績額 × 開発数 = 290,000円 × 4件 = 1,160,000円

KPI③

基本的な考え方	平成31年度(4年後)まで毎年1人ずつ新たに就農する。
数値計算	新たな就農者数 × 年数 = 1人 × 4年 = 4人

具体的施策	I - (5)	就業に関する意識・技能向上のための研修事業の実施
-------	---------	--------------------------

KPI		実績値
講座受講後に就職した人数	28 人 (H31までの累計)	2 人 (H26)

KPI

基本的な考え方	平成31年度(4年後)まで毎年70人が受講し、その1割が就職に結びつくとする。
数値計算	年間受講者数 × 就職率 × 年数 = 70人 × 0.1 × 4年 = 28人

※ 田川市雇用創造協議会による人材育成(H26)

受講者 63人

うち就職に至った者 2人

具体的施策	I - (6)	企業誘致・育成の推進
-------	---------	------------

KPI		実績値
①誘致した企業数	2 件 (H31までの累計)	1 件 (過去5年)
②支援策により新規雇用を行った企業数	6 件 (H31までの累計)	3 件 (過去5年)

KPI①

基本的な考え方	過去5年間の田川市への企業誘致実績値を2倍にする。
数値計算	過去5年間の実績値 × 増加率 = 1件 × 2 = 2件

KPI②

基本的な考え方	過去5年間の支援策による新規雇用実施企業の実績値を2倍にする。
数値計算	過去5年間の実績値 × 増加率 = 3件 × 2 = 6件

具体的施策	I - (7)	創業支援の推進
-------	---------	---------

KPI		実績値
創業件数	20 件 (H31までの累計)	- 件

KPI

基本的な考え方	平成27年5月に田川市創業支援事業計画を策定した。その中で年間5件の創業を実現することとしている。
数値計算	年間創業件数 × 年数 = 5件 × 4年 = 20件

※ 田川市創業支援事業計画

- ・ワンストップ相談窓口 相談10件 創業2件
- ・創業セミナー 受講30件 創業3件

具体的施策	Ⅱ－1	田川版CCRCの検討・推進
-------	-----	---------------

KPI	実績値
平成29年度までに取組方針を決定	-

KPI

基本的な考え方	今後2年間で取り組みの方針を決定する。
数値計算	—

具体的施策	Ⅱ-2	国立保健医療科学院の誘致
-------	-----	--------------

KPI	実績値
移転の決定	-

KPI

基本的な考え方	国立保健医療科学院の移転については国が決定する。
数値計算	—

【削除】

具体的施策	Ⅱ-3	定住を促進する奨学金制度の導入
-------	-----	-----------------

KPI	実績値
奨学金を利用して定住した人数	15人(H31)
	-人

KPI

基本的な考え方	市で現在、実施している奨学金(大学生分)の貸与者の数を倍増させ、奨学金貸与者の半数が市内に定住する。
数値計算	奨学金貸与開始者数(実績) × 増加率 × 定住率 $= 15人 \times 2 \times 1/2$ $= 15人$

※奨学金貸与開始者数(H27)

15人

具体的施策	Ⅱ-4	トライアルワーキングステイによる移住の推進
-------	-----	-----------------------

KPI		実績値
①体験者のうち移住した件数	5 件 (H31までの累計)	- 件
②本事業により移住した人数	12 人 (H31までの累計)	- 人

KPI①

基本的な考え方	平成31年度(5年後)まで毎年2人のトライアルワーキングステイ体験者を受け入れ、そのうち半数が移住する。
目標数値計算	受入件数 × 移住割合 × 年数 = 2件 × 1/2 × 5年 = 5件

KPI②

基本的な考え方	移住件数に全国の平均世帯人員を乗じる。
数値計算	移住件数 × 全国の平均世帯人員 = 5件 × 2.51人 = 12.55人

具体的施策	Ⅱ-5	移住・定住に対する助成の実施
-------	-----	----------------

KPI		実績値
奨励金を利用して定住した世帯数	22 世帯(H31までの累計)	56 世帯(H26)

KPI

基本的な考え方	分譲地の残区画を完売する。
数値計算	分譲地の残区画数=22区画(H27.4.1時点)

具体的施策	Ⅱ-6	住宅リフォーム助成による移住・定住の推進
-------	-----	----------------------

KPI		実績値
住宅リフォームの実施件数	45 件 (H31)	35 件 (H26)

KPI

基本的な考え方	住宅リフォーム実施件数を、実績値の1.3倍に向上させる。
数値計算	実績値 × 増加率 = 35件 × 1.3 = 45.5件

※ H27年7月から市外居住者の移住に伴う住宅リフォームを対象に加えた。

具体的施策	Ⅱ-7	新婚・子育て世帯に対する市営住宅入居要件の緩和
-------	-----	-------------------------

KPI	実績値
要件緩和を利用して入居した人数	36人(H31までの累計)
	0人

(H26.10制度開始)

KPI

基本的な考え方	要件緩和を利用した入居件数を、平成31年度(4年後)まで毎年3件ずつとし、若年層の平均世帯人員を乗じる。
数値計算	年間入居件数×平均世帯人員×年数 =3件×3人×4年 =36人

20～49歳までを世帯主とする世帯(単独世帯を除く)の世帯数・世帯人員 ※H22 田川市(国政調査)

世帯主年齢	世帯数	世帯人員
20～24歳	153	431
25～29歳	480	1,398
30～34歳	808	2,408
35～39歳	1,077	3,217
40～44歳	975	2,905
45～49歳	987	2,947
計	4,480	13,306

20～49歳までを世帯主とする世帯の平均世帯人員
 $13306/4480=2.97 \approx 3$ 人

※ 収入基準の緩和 1,896,000円以下 → 2,568,000円以下

※ 要件緩和対象者の家賃 7,300円～36,400円

具体的施策	Ⅲ-1	学び塾等による学力の向上
-------	-----	--------------

KPI		実績値
①学び塾等の利用者数	180人(H31)	106人(H26)
②全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差(4科目平均)	-7.2点(H31)	-14.4点(H26)

KPI①

基本的な考え方	学び塾等の利用者数を、平成31年度(4年後)まで年間20人ずつ増加させる。
数値計算	実績値+年間増加数×年数 =106人+20人×4年 =186人

KPI②

基本的な考え方	中学3年生の全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差(4科目平均)を、半分に縮める。
数値計算	実績値×縮減率 =-14.4点×1/2 =-7.2点

H26年度全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差(中学3年生)

国語A	国語B	数学A	数学B	平均
△10.5	△12.6	△16.3	△18.2	△14.4

具体的施策	Ⅲ-2	出会いのための機会の創出
-------	-----	--------------

KPI		実績値
①イベントでカップルになった人数	60 人(H31までの累計)	10 人(H26)
②支援により結婚した組数	3 組(H31までの累計)	- 組

KPI①

基本的な考え方	平成31年度(5年後)まで、40人が参加するイベントを毎年開催し、参加者数の3割のカップルが成立する。
数値計算	イベント参加者数×カップル成立割合×年間開催回数×年数 $=40人 \times 0.3 \times 1回 \times 5年$ $=60人$

KPI②

基本的な考え方	支援事業を受けて成立したカップルの中から、1割が結婚に至ったとする。
数値計算	5年間の成立カップル数×結婚に至る割合 $=30組 \times 0.1$ $=3組$

具体的施策	Ⅲ-3	不妊治療の利用促進
-------	-----	-----------

KPI		実績値
①不妊治療の利用件数	120 件(H31までの累計)	21 件
②不妊治療により妊娠した人数	30 人(H31までの累計)	5 人

(H26.10制度開始)

KPI①

基本的な考え方	不妊治療利用件数の実績値を1.2倍に向上させる。
数値計算	実績値 × 増加率 × 年数 = 21件 × 1.2 × 5年 = 126件

KPI②

基本的な考え方	不妊治療により妊娠した実績値を1.2倍に向上させる。
数値計算	実績値 × 増加率 × 年数 = 5人 × 1.2 × 5年 = 30人

具体的施策	Ⅲ-4	出産・子育てに対する経済負担の軽減
-------	-----	-------------------

KPI		実績値
出生数	470 件(H31)	456 件(H26)

KPI

基本的な考え方	出生数を平成31年度(4年後)まで毎年1%ずつ上昇させる。 ※1%は仮設定値。今後の見直しが必要。
数値計算	実績値 × 増加率 ⁴ = 456件 × 1.01 ⁴ = 474.5件

具体的施策	Ⅲ-5	子育て支援講座の開催
-------	-----	------------

KPI		実績値
講座受講人数	840人(H31までの累計)	一人

KPI

基本的な考え方	平成31年度(4年後)まで、0歳児を持つ親の半数が受講する。
数値計算	$0\text{歳児数} \times \text{受講割合} \times \text{年数}$ $= 422\text{人} \times 1/2 \times 4\text{年}$ $= 844\text{人}$

具体的施策	IV-1	定住自立圏の形成
-------	------	----------

KPI	実績値
平成29年度までに定住自立圏を形成	-

KPI

基本的な考え方	今後2年間で定住自立圏を形成する。
数値計算	—

具体的施策	IV-2	バス路線の維持・充実
-------	------	------------

KPI		実績値
①市内の民営バス利用者数	111,000 人(H31)	117,526 人 (H26)
②市内のコミュニティバス利用者数	72,000 人(H31)	62,190 人 (H26)

KPI①

基本的な考え方	市内の民営バス利用者の減少率を、平成31年度(5年後)まで毎年1%に抑える。
数値計算	実績値 × 減少率 ⁵ =117,526人 × 0.99 ⁵ =111,766人

KPI②

基本的な考え方	市内のコミュニティバス利用者を、平成31年度(5年後)まで毎年3%ずつ増加させる。
数値計算	実績値 × 減少率 ⁵ =62,190人 × 1.03 ⁵ =72,095人

バス利用者数

(単位:人)

	H24年度	H25年度	H26年度
民営バス	127,064	121,541 (4.3%減)	117,526 (3.3%減)
コミュニティバス	48,874	57,831 (18.3%増)	62,190 (7.5%増)

()は前年度比

具体的施策	IV-3	買物弱者対策、見守り活動の推進
-------	------	-----------------

KPI	実績値
配達実施店舗数	130 店 (H31)
	— 件

KPI

基本的な考え方	市内小売店舗の1/5が配達を実施する。 ※1/5は仮設定値。現在の配達実施店舗数を把握した上で見直しが必要。
数値計算	市内小売店舗数 × 実施割合 = 661店 × 1/5 = 132.2店

市内小売店舗: 661店 (平成24年度経済センサス活動調査)